

# 連携協定の締結について

関川村地域政策課 脱炭素推進室

2024年3月21日

# 1. 千葉県匝瑳市（脱炭素先行地域）との地域間連携協定締結について

## ① 千葉県匝瑳市の概要

匝瑳市は、平成18年1月に八日市場市と野栄町が合併して誕生した市で、千葉県の北東部に位置し、面積101.52km<sup>2</sup>あり、人口は約33千人で、九十九里浜に面した平坦な地形となっています。

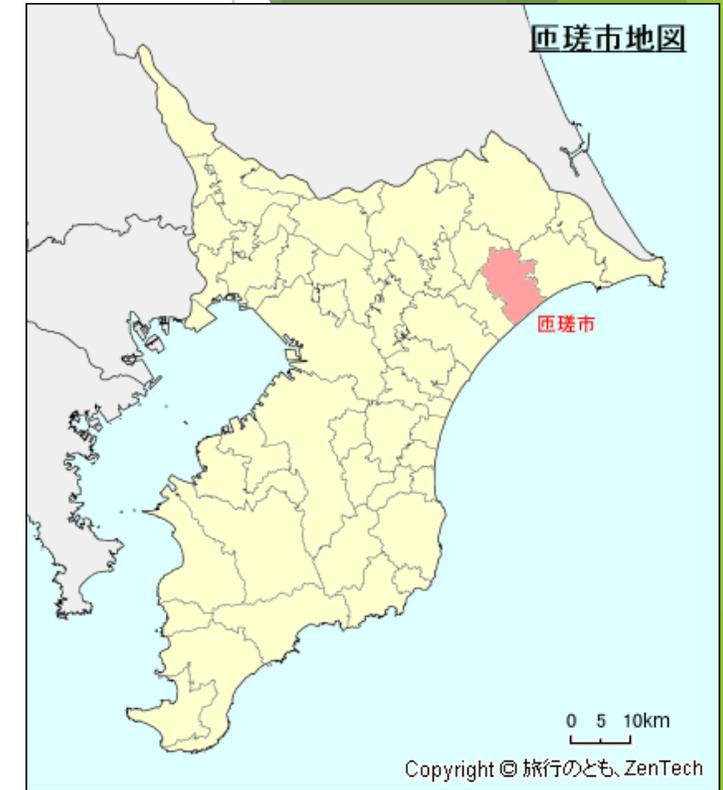
脱炭素先行地域には、ソーラーシェアリング（以下「SS」という。）を中心とした脱炭素化推進のモデルとして、第4回の公募で選定されました。従来からある畑作営農におけるSSに加え、水田でのSS導入も目指している地域です。

## ② 連携に至った経緯

匝瑳市は、SSにおいては耕作放棄地に1Mw級(約3.2ha)の発電所が設置し、農地の再生を成功させた日本随一の先進地域であり、脱炭素先行地域として選定される前から、連携の打診をいただいていた。匝瑳市からは、先行地域への選定の有無に関わらず、当村と連携しSSを含む、脱炭素技術の連携の申し出がありました。

村としては、雪国でのSS活用を視野に入れるとともに、農業の活性化の面からも村に必要な技術として、連携協議を行ってきました。

このたび、相互が進める脱炭素社会実現に向けた様々な事業を、緊密な情報共有や連携によって行い、両自治体が抱える地域課題解決の実現性をより高めるため、そして、村としては技術連携によって農業の活性化と脱炭素化を同時実現するため連携協定を締結しました。



# 1. 千葉県匝瑳市（脱炭素先行地域）との地域間連携協定締結について

## ③ 連携事項

### 【ソーラーシェアリング】

- (1) 営農SSに係る技術連携と共同調達
- (2) 匝瑳市を活動拠点とするSSアカデミーの活用
- (3) 豪雪地帯での営農SSモデルの開発及び検討
- (4) 営農ソーラー設備下での栽培した作物の販売先相互共有



### 【再生可能エネルギー導入】

- (1) 小型風力発電・地熱バイナリー発電・小水力発電の電源開発に係る知見の共有と共同実証
- (2) 木質バイオマス発電事業の設備情報共有、緊急時の保守部品の融通
- (3) 農業分野における熱利用に係る情報共有
- (4) 木質バイオマスボイラーに関する情報の共有
- (5) 垂直両面型ソーラーパネルに関する知見・情報の共有



### 【その他の連携】

- (1) バイオ炭の活用・水田中干期間延長によるメタンガス排出抑制・不耕起、有機栽培の情報、知見の共有

## ④ 協定締結日 令和6年2月27日

